

気候情報

2021年7月の日本の天候

- 北日本の気温はかなり高く、降水量はかなり少なく、北・東日本日本海側の日照時間はかなり多かった
- 東日本太平洋側の降水量はかなり多かった
- 沖縄・奄美の気温は低く、降水量は多く、日照時間は少なかった

7月の天気概況

中旬以降は北日本を中心に高気圧に覆われて晴れることが多かった。また、北日本で猛暑日を観測する地点があるなど気温はかなり高く、降水量はかなり少なかった。一方、東日本太平洋側は上旬に梅雨前線の影響で大雨となり、降水量はかなり多かった。沖縄・奄美は期間の後半は台風第6号が沖縄地方にゆっくり接近し、台風の影響が長時間に渡ったため、気温は低く、降水量は多く、日照時間は少なかった。

上旬：梅雨前線は本州付近に停滞し、北・東・西日本では曇りや雨の日が多かった。1日は伊豆諸島で線状降水帯が発生し、土砂災害等の被害が発生した所があった。7日は鳥取県と島根県、10日は鹿児島県で線状降水帯が発生し、期間の中頃からは西日本を中心に大雨となった。2日ごろには沖縄地方で、3日ごろには奄美地方で梅雨明けしたとみられる(速報値)。

旬平均気温は、西日本で高く、北・東日本と沖縄・奄美で平年並だった。

旬降水量は、東日本太平洋側でかなり多く、東日本日本海側と西日本で多かった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。北日本太平洋側で平年並だった。

旬間日照時間は、北・東日本太平洋側でかなり少なく、東日本日本海側と西日本で少なかった。一方、沖縄・奄美で多かった。北日本日本海側で平年並だった。

中旬：北・東日本と西日本日本海側では高気圧に覆われて晴れた日が多かった。北日本では期間の後半は猛暑日を観測する地点があるなど、旬平均気温はかなり高かった。11日ごろには九州南部で、13日ごろには九州北部地方と中国地方で、14日ごろには北陸地方で、16日ごろには関東甲信地方と東北南部と東北北部で、17日ごろには近畿地方と東海地方で、19日ごろには四国地方で梅雨明けしたとみられる(速報値)。

旬平均気温は、北日本でかなり高く、東・西日本と沖縄・奄美で平年並だった。

旬降水量は、北日本でかなり少なく、東・西日本日本海側で少なかった。一方、西日本太平洋側で多かった。東日本太平洋側と沖縄・奄美で平年並だった。

旬間日照時間は、北日本と東日本日本海側でかなり多く、東日本太平洋側と西日本日本海側で多かった。西日本太平洋側と沖縄・奄美で平年並だった。

下旬：北・東・西日本では、期間の半ばまでは高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、28日に台風第8号が東北地方に上陸して横断し、北日本や東日本日本海側では曇りや雨となった。

旬平均気温は、北日本でかなり高かった。一方、沖

縄・奄美でかなり低かった。東・西日本で平年並だった。旬降水量は、北日本日本海側と西日本でかなり少なく、北日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美でかなり多かった。東日本で平年並だった。

旬間日照時間は、北・東日本日本海側と西日本でかなり多く、北・東日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美でかなり少なかった。

7月の気候統計

月平均気温：北日本でかなり高く、西日本で高かった。一方、沖縄・奄美で低かった。東日本では平年並だった。

月降水量：北日本でかなり少なかった。一方、東日本太平洋側でかなり多く、沖縄・奄美で多かった。東日本日本海側と西日本では平年並だった。

月間日照時間：北・東日本日本海側でかなり多く、北日本太平洋側と西日本日本海側で多かった。一方、沖縄・奄美で少なかった。東・西日本太平洋側では平年並だった。

(気象庁大気海洋部観測整備計画課)

—— 7月の記録(1位更新のみ、タイ記録含む) ——

- ・月平均気温高い方から(°C)
稚内(北海道) 21.1など12地点
- ・月降水量少ない方から(mm)
留萌(北海道) 4.0など9地点
- ・月降水量多い方から(mm)
千葉(千葉県) 395.0
- ・月間日照時間多い方から(h)
江差(北海道) 272.0など11地点

2021年7月の平年差(比)図

